

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社ヤマダ電機					
代表者名	氏名	三嶋 恒夫	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	群馬県高崎市栄町1番1号					
主たる事業の分類	大分類	N 生活関連サービス業、娯楽業				
	中分類	5931：機械・器具小売業				
主たる事業の概要	国内有名メーカーおよび海外有名メーカーの家庭電化製品ならびにオーディオ機器・健康器具・介護関連機器・OA機器の販売と修理、ビデオソフトレンタル、ソフトセル、書籍の販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2909	2822	2873	2823	2029
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	5914	5737	5850	5770	3671
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	17		17	17	17
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	33		39	39	127

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 31 年度
--------	----------

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	本社総務室で開示
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

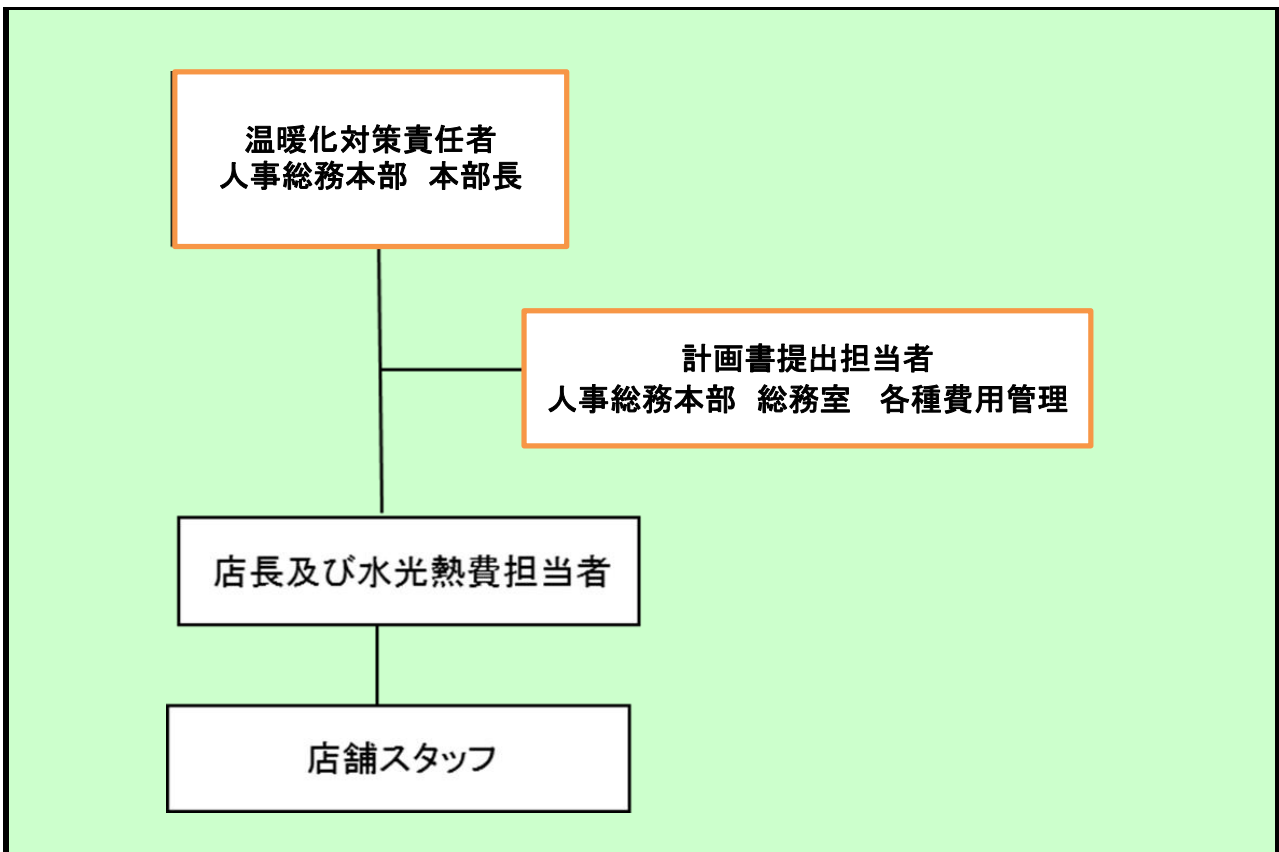
＜環境に関する基本方針＞

環境問題は早急に取り組むべき人類共通の重大な課題であると認識し、省エネルギー・リサイクル等の活動に積極的に取り組みます。

＜行動指針＞

- ①環境に関する法規制を遵守し、自らの社会的な責任を踏まえて地球環境保全および環境負荷低減に向けた事業活動を推進します。
- ②すべての事業活動を通じて環境影響の把握を進め、事業活動を通じて発生する環境負荷の低減に向けた継続的な改善と汚染の予防に努めます。
- ③本業を通じて社会全体での地球環境保全に寄与するサービスおよび製品の販売を推進します。環境に係る問題に関する学習を通じて、一人ひとりが責任をもって自発的に行動できるようにします。
- ④お客様や地域の皆様との連携を進めながら、地球環境保全に向けた取り組みを進め、積極的に情報開示をします。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

なし

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5,914	t-CO ₂	延床面積	104.80	単位	千㎡	
28年度	調整後排出量	5,371	t-CO ₂	基準原単位	56.43	t-CO ₂ /	千㎡	
目標年度	目標排出量	5,737	t-CO ₂	目標原単位	54.74	t-CO ₂ /	千㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	省エネ法で定める削減目標を採用							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	5,850	t-CO ₂	延床面積	104.80	単位	千㎡	
	調整後排出量	5,660	t-CO ₂	原単位	55.82	t-CO ₂ /	千㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	1.08	%	削減率	1.08	%		
排出量等の増減理由	エネルギーの見える化装置の設置、空調の自動制御、照明のタイマー化、調光装置の活用による照明電力の削減効果が出ている。							
第二年度	排出量	5,770	t-CO ₂	延床面積	104.80	単位	千㎡	
	調整後排出量	5,838	t-CO ₂	原単位	55.06	t-CO ₂ /	千㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	2.43	%	削減率	2.42	%		
排出量等の増減理由	エネルギーの見える化装置の設置、空調の自動制御、照明のタイマー化、調光装置の活用による照明電力の削減効果が出ている。							
第三年度	排出量	3,671	t-CO ₂	延床面積	104.80	単位	千㎡	
	調整後排出量	3,347	t-CO ₂	原単位	35.03	t-CO ₂ /	千㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率※
31年度	削減率	37.92	%	削減率	37.92	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	エネルギーの見える化装置の設置、空調の自動制御、照明のタイマー化、調光装置の活用による照明電力の削減効果が出ている。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	33	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	39	t-CO ₂	削減率	-18.19	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	39	t-CO ₂	削減率	-18.19	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	127	t-CO ₂	削減率	-284.85	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330201空調温度管理の徹底 空調稼働時間の抑制	29	11		
2	エネ起	380701点灯時間、点灯率の抑制 調光設定の変更	29	11		
3	エネ起	380799インバータ蛍光灯やLEDの照明 への改修を検討する	29	44		
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	543		190	-68	324
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	19	5,914	19	5,850	19	5,770	19	3,671
合計	19	5,914	19	5,850	19	5,770	19	3,671

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	17	17	17	17
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

14 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	

15 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特になし
公共交通機関の利用促進	
来客者の交通対策	
物流の合理化	

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	2006年より積極的な省エネ施策を実施してきた。 エネルギーの見える化装置の設置、空調の自動制御、照明のタイマー化、調光装置の活用による照明電力の削減
第一年度実績	エネルギーの見える化装置の設置、空調の自動制御、照明のタイマー化、調光装置の活用による照明電力の削減
第二年度実績	エネルギーの見える化装置の設置、空調の自動制御、照明のタイマー化、調光装置の活用による照明電力の削減
第三年度実績	エネルギーの見える化装置の設置

18 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	エネルギーの見える化装置の設置、空調の自動制御による徹底空調稼働時間の抑制、照明のタイマー化や調光装置の活用による照明電力の削減など積極的な省エネ施策を実施してきた。	1000
その他		